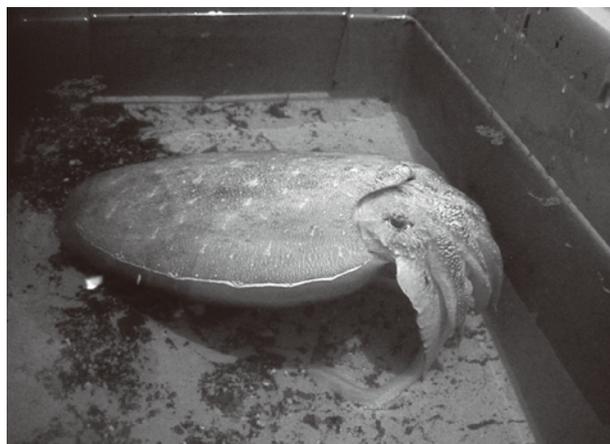


観察会報告
御前崎「磯の自然観察会」
横山 謙二



磯の観察と生物の採集の様子



カミナリイカ

5月26日(日)に御前崎にて磯の観察会を行いました。この観察会は人気のある観察会で今年も、参加者は大人・子供合せて24名も参加がありました。自分も何回も御前崎に來ていますが、毎回色々な生物が観察できるので楽しみにしています。

今回の観察会を開始した10時半ごろは、ほどよく潮が引き、あちらこちらにタイドプールができていました。参加者は、開始そうそうから夢中で採集を行い、10分もたたないうちに色々な生物が、用意した水槽の中に集められてきました。今回採集された、生物の内容は下記のとおりです。

貝・タコ・イカの仲間：貝類の仲間は、例年だとあまり採集する方はいないのですが今年は、二枚貝で16種、巻貝で42種、多板類で1種と、計59種もの多くの貝類が採集されました。

採集された中には、すだれ模様の貝殻をもち、ひらひらと動く薄い膜状の軟体部があるミスガイ(ウミウシやアメフラシの仲間)やホルスタインのような白地に黒い斑点のある体で2本の角をもつシロウミウシなども見られました。またタコやイカの仲間では、60cmほどの大きなコウイカの仲間のカミナリイカが取れ、みんなの注目をあつめていました。

魚類：魚類は、15種ほど採集されました。アカ

オビシマハゼなどのハゼ科の仲間が一番多く採集され、中には大きなウツボまで採集されました。

エビやフジツボの仲間(節足動物)：節足動物は、8種ほど採集されました。カニやエビの仲間は、ショウジンガニ、イワガニ、ヒライソガニ、ヤワラガニ、ホンヤドカリ、サラサエビの6種、フジツボの仲間(蔓脚類)はエボシガイとクロフジツボが採集されました。

ウニ・ヒトデの仲間(棘皮動物)：棘皮動物は、クシウミシダの仲間、イトマキヒトデ、ニホンクモヒトデ、バフンウニ、アカウニ、ムラサキウニが採集され、特にニホンクモヒトデが多く見られました。

その他の生物：クラゲの仲間はギンカクラゲと猛毒を持つカツオノエボシが採集されました。また、楕円形で非常に薄い、黄粉もちをつぶしたような感じのヒラムシ(扁形動物)の仲間も採集されました。

また水生生物ではありませんが、海鳥のハシボソミズナギドリの死骸も採集できました。

今回の観察会では、2時間程の採集時間で90種あまりの多くの生物が採集できました。何度も来ている御前崎ですが、ミスガイやヤワラガニ、ヒラムシなどの初めて見れた生物もあり、勉強になる観察会でした。